

みどり とび

樹木のふしぎ／シラカシ
みどり探訪／善福寺公園
みどりの窓／新しい市民緑地 さかうえいこいの森
大田黒公園紅葉ライトアップ
落ち葉感謝祭2024
緑の歳時記／コミカンソウ
園芸ワンポイント／キッチンで野菜づくり



樹木のふしぎ

シラカシ(白樫) (ブナ科)

福島、新潟以西に分布。特に関東地方には多く、私達もよく見かける身近な樹木です。

☆どんな木ですか

ブナ科の常緑広葉樹。樹高10〜20mにもなる堅牢で成長の早い高木です。
雌雄同株で花期は5月頃。秋には堅果(ドングリ)が実ります。葉は、長さ5〜12cm。先が鋭く尖ったほつり型で浅い鋸歯があります。

☆どんな風にご利用されていますか

シラカシは山野に自生して雑木林を形成する一方で、古くから人の近くで人の暮らしとかがわつてきた樹木でもあります。
かつては、防風林、生け垣など家を守るために植えられることが多かったそうです。現在でも公園、校庭、寺社の緑化のために植栽され、街路樹としても利用されています。
材は堅いため、今も器具の柄や木刀などに使われています。なお、この材が白っぽいところから、白樫といわれたとされています。

☆ドングリについて

日本には、ドングリがなる木は20種以上あって、シラカシはその内の一種です。シラカシのドングリは、1.5〜2cm程度の卵型。殻斗は他のドングリと比べて深く、横縞模様がついています。

秋が深まってきましたね。まちのいろいろな公園や緑地にはシラカシだけではなく、いろいろなドングリが落ちています。子供の頃を思い出して、ドングリのコレクションを楽しんでみませんか？



ドングリの実